



コスモス塾 プランター栽培コンクール結果発表!

女性リーダーの育成を目指し平成28年6月に開講したコスモス塾では、塾生同士が同じ目線で共通の取り組みを行い、生産活動や収穫の喜びを仲間や家族と分かち合うため、全コースの塾生にナスやトマトのプランターを配布しました。

夏期にはナス・トマトを栽培し、秋期から冬期にかけてはその後作として白菜・キャベツを栽培。さらにコンクールを行いました。

塾生77人が参加したコンクールでは、生育状態などを園芸指導課の営農指導員が巡回して採点。塾生のプランターを樹勢や病虫害の有無、栽培管理の状態などで審査し、中には満点となった塾生もいました。

優秀な栽培結果となった受賞者は次の皆さまです。

最優秀賞

黒沢 糸子 さん(角館)

園芸指導課
から一言

ナス・トマトは夏期の天候が不順にもかかわらず、水管理や追肥の管理が徹底され、虫による食害もなく、しっかり支柱に誘引されていました。また、キャベツ・白菜についても、虫害がなくきれいに育っています。



▲最優秀賞を受賞した黒沢さん

優秀賞

藤村 裕美 さん(田沢湖) 菅原 スミ子 さん(角館) 草薙 普 さん(中仙)

敢闘賞

藤枝 友子 さん(角館) 小田嶋 実千代 さん(協和) 高山 早枝子 さん(千畑)
千葉 量子 さん(角館) 藤村 幸子 さん(田沢湖) 澤村 妙子 さん(六郷)

受賞者の皆さま、おめでとうございます!

園芸指導課から一言

トマト・ナスについては、日頃の管理が徹底されており、虫害がなく、ボリュームがありました。脇芽や摘葉により、たくさんの日光を浴びたトマト・ナスは色つやが良く、収穫されたトマトはそのまま、ナスは一夜漬けや浅漬けで、子どもたちのおやつやお茶うけとして大活躍だったようです。

また、どの白菜・キャベツも日頃の管理が良く、病虫害が少なく作物に対する愛情がうかがえます。白菜は結球期である秋の気温が高く、結球の遅れにより球が小さく締まりが悪くなったほか、キャベツは定植時期が遅かったために結球が遅く、玉伸びが無く小さくなってしまいました。

コスモス塾生の皆さまは、栽培したどの作物も、サラダや浅漬け、鍋物などで食し、家族みんなで収穫の喜びを分かち合ったと聞いております。来年は今回の反省を踏まえ、さらなる作物の管理指導を図っていきます。

このコンクールは、今年も実施します。塾生に限らず、プランター栽培にご興味のある方は、JA園芸指導課(TEL:0187-42-8094)までお気軽にご相談ください!



▲佐野町本店・中仙本店には白菜・キャベツを展示中です!

金のいぶきを栽培してみませんか？

玄米食専用の低アミロース巨大胚米品種「金のいぶき」の栽培に挑戦してみませんか？JAでは新規作付者を対象に栽培講習会を開きますので、ぜひご参加ください。



開催日時 平成29年3月3日(金)13:30から

開催場所 中仙本店2階大会議室

【米穀指導課 TEL:0187-86-0851 / 新田新作 TEL:080-2849-3798】

【園芸指導課 TEL:0187-42-8094 / 田口誠毅 TEL:080-2849-3767】